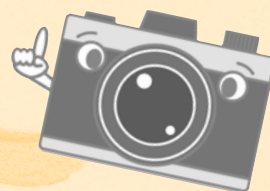




国道45号開通 児童らが渡り初め

3月29日(木)、東日本大震災で被災した志津川地区の中心街を走っていた国道45号が開通し、志津川保育所児童や地域住民約50人が渡り初めを行い、開通を喜び合いました。

今回開通したのは、水尻橋、汐見橋を含む845メートル。約12メートル嵩上げし整備された道路で、防潮堤と併せ津波に対する2重防御となり、町の安全、安心に大きく貢献するとともに、交通渋滞の緩和が期待されます。



百寿のお祝い 佐藤初代さん

4月27日(金)、百寿を迎えた佐藤初代さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

初代さんは、一人でお風呂に入ったり、薬を飲んだり塗ったりするなど、とにかく介護いらず。趣味は、小説を読むことだそうで、特にサスペンスものが好きとのこと。食事は、毎日野菜を食べるほか、ドリアやスパゲティなども好き嫌いなく何でも食べるそうです。ただ唯一、納豆だけが昔食べ過ぎて食べたくないと言います。

百寿おめでとうございます。いつまでもお元気で。



新しい橋の名前が決定！



町では、志津川地区に建設中の橋の名称を小中学生に公募し、選ばれた橋の名称を刻んだ橋名板を志津川高校生がデザインするという取り組みを進めてきました。

4月1日(日)、橋の名付け親となった小中学生と橋名板をデザインした志津川高校生に対し感謝状の授与と、橋名板の設置をしました。

今回、橋の名称には351件の応募がありました。そして、名称は「新井田橋」「未来橋」「新大森橋」に決定しました。